DAIMLER TRUCK

Asia



三菱ふそうトラック・バス株式会社

〒 211-8522 神奈川県川崎市中原区大倉町 10 番地 電話 044 330 7700 Daimler India Commercial Vehicles Pvt. Ltd.,

SIPCOT Industrial Growth Centre,
Oragadam, Mathur Post,
Sriperumbudur Taluk,
Kancheepuram District,
Tamil Nadu - 602105
Tel: +91 44 49694000

ダイムラー・トラック・アジアへようこそ



カール・デッペン 代表取締役社長 最高経営責任者 (CEO)

ダイムラー・トラック・アジアはダイムラートラック インドでは、2012年にバーラト・ベンツブラン 構成されています。

私たちのビジョンは明確です。人と地球のより良 私たちは、これからもグローバルなひとつのチー ける私たちのブランド、FUSO とバーラト・ベン きます。 ツは、最先端の技術と比類ない品質を誇り、世界 170 以上の市場でお客様をサポートしています。

ダイムラー・トラック・アジアでは、社員が最大の 資産です。45 カ国以上から集まった多彩なチー ムは、私たちの成功の礎となっています。この多 様性が私たちの強みであり、世界中のお客様に付 加価値を提供するために、私たちはひとつのグロー バルチームとして働き、世界を動かし続けるとい う共通の目的によってモチベーションを高めてい ます。

日本の MFTBC で我々のトラックやバスは、効率 性、安全性、快適性が高いことで知られています。 環境に優しい未来と eMobility を強く提唱する MFTBC は、量産型電気トラックとしては日本国内 初の eCanter を 2017 年に発売しました。2022 年には次世代の eCanter を発表しようとしていま すが、すでに日本やヨーロッパなど、何百ものお 客様のフリートから排出される CO2 の削減に寄与 しています。

AG の一部であり、商用車のグローバルリーダー ドを立ち上げて以来、業界における強力な競争相 です。アジアを拠点に、三菱ふそうトラック・バス 手として確固たる地位を築いてきました。今後は、 株式会社(MFTBC) とダイムラー・インディア・コマー ダイムラートラックが世界中で展開する輸出、サー シャル・ビークルズ (DICV) の2つの事業体から ビス、研究開発、IT のハブとして、インドの戦略 的潜在力を活用できることが期待されます。

い生活を包含するモビリティ・ソリューションを開 ムとして、業界をリードする持続可能なモビリティ・ 発することです。豊かな歴史に根ざし、革新を続 ソリューションとサービスをお客様にお届けしてい

カール・デッペン



MFTBC 代表取締役会長

私は企業が世界で競争力を保つためには、国際市 私たちは、車両のみならず、バリューチェーン全体

価と伝統を持つ日本の三菱ふそうトラック・バス 陽光パネルを導入し発電を行い、雨水の排水を再 株式会社と、インドのダイムラー・インディア・コ 利用するなど、持続可能な未来を目指して環境へ マーシャル・ビークルズの協業組織です。国籍や文の取り組みを進めています。 化の壁を越えひとつとなったグローバル組織の素 晴らしいモデルが私たち DTA です。

多様な文化を背景に持つこの組織は、才能とやる 私たち DTA のビジョンです。 DTA の素晴らしい世 気に溢れた社員がひとつのチームとして共に働く 界へ皆様をご案内します。ぜひご覧ください。 ことで優れたアイデアや製品を生み出しており、こ のユニークな企業文化が私たち DTA の強みとなっ ています。このようにして最高の製品やソリュー 松永 和夫 ションを世界中のお客様に提供しています。

人材は企業の中核を成し、その企業は社会に貢献 していかなければなりません。トラックやバスな どの商用車は特に、世界中で物資や人を輸送する 手段として社会を支える中心的な役割が求められ ています。DTA は、利益を追求するのみでなく、 組織として成長し経済面、社会面、環境面で持続 的に社会に貢献していくことを目指します。

場に乗り出すのみでなく、グローバルな人材を積 を 2039 年までに脱炭素化することを目指してい 極的に活用していくことが重要であると確信してます。温室効果ガスと騒音を抑制する環境に優し い電気小型トラック「eCanter」で、eMobility の 先駆者として物流業界の脱炭素化を支援していま ダイムラー・トラック・アジア (DTA) は、高い評 す。またインドのチェンナイと川崎の工場では、太

> 「人と地球に、より良い生活と環境を実現するモビ リティ・ソリューションを提供します」 — これが



ダイムラー・トラック・アジア (DTA) は、三菱ふそうト 90年以上の歴史を持つ三菱ふそうトラック・バス株式会 ラック・バス株式会社 (MFTBC) とダイムラー・インディ 社 (MFTBC) と成長著しいインドで新興した DICV は、 ア・コマーシャル・ビークルズ (DICV) の 2 社が構成す ダイムラートラック社の重要な子会社です。2 社を合わ る戦略組織です。両社の強みを活かし研究開発から調達、 せた販売台数はダイムラートラック社の販売総数の約3 生産、輸出、販売・マーケティングに至るまで幅広い分 分の1を占めています。私たちは両社の強みを活かした 野で協業し、お客様にとって価値の高い製品を提供し DTAという組織を形成し、世界の商用車需要やお客様の

多様なニーズに応えています。

ふたつの組 織によるひとつの商用車ポートフォリオ

DTA の製品ラインアップは、FUSO ブランドの日本・海外 共通戦略を掲げて 2 社が協業する組織の利点は、こうし 成熟市場向けモデルおよび海外成長市場向けモデル、そた技術的な側面だけでなく、人財の多様性にも及びます。 してインド市場向けのバーラト・ベンツブランドのモデル さまざまな能力を持つ人財の交流を図り互いに学びなが で構成されています。

DTA は神奈川県川崎市とインド・オラガダムに生産拠点 を置いています。またインド・バンガロールにソフトウェ ア研究開発センター、栃木県の喜連川に MFTBC のテス トコース、そしてインド・チェンナイに DICV のエンジニ アリンク拠点を置いており、DTA としてこれらの施設を 有効活用しています。

両社が DTA として協業することで様々なメリットを享受 できます。サプライヤー網を効率的に構築・管理し高品 質な部品を低価格で調達、またコスト競争力のある製品 を開発・生産するなどして事業を拡大しています。

ら協力し合うことで、文化融合が深化、また多様性を生 み出すことができます。



	三菱ふそうトラック・バス株式会社	ダイムラー・インディア・コマーシャル・ビークルズ
主要拠点	〒211-8522 神奈川県川崎市中原区大倉町10番地	SIPCOT Industrial Growth Centre, Oragadam, Mathur Post, Sriperumbudur Taluk, Kancheepuram District, Tamil Nadu - 602105
役員	代表取締役社長 最高経営責任者(CEO) カール・デッペン MFTBC代表取締役会長 松永 和夫	マネージング·ダイレクター 兼 DICV CEO サティヤカーム·アーリャ
従業員数	約1万人	約4千人
事業内容	トラック・バス、産業エンジンなどの開発、設計、製造、売買、 輸出入、その他取引業	トラック、バス、シャシー、エンジン、トランスミッションの製造





電気トラックのパイオニア、eCanter 世界が求めるエコ輸送を今すぐに

三菱ふそうは、2017年に国内で 三菱ふそうがつくるトラックやバス 従来の内燃機関(エンジン)に代わ 初めて量産型電気トラック(EV ト した。電気トラックのパイオニアと して、走行中に CO2 や排出ガスを ラル) 化とともに、持続可能な社会 たからでした。時代をリードする 次々と活躍の場を広げています。

は、人々の生活を支え身近なところり、バッテリー電力を使った電動機 ラック) として eCanter を発表しま で活躍しています。そうした中で、 (モーター) で走る eCanter は、地 私たちが EV トラックにいち早く挑 戦した理由、それは環境によりよいなどの課題解決が図れるため、未 出さない、ゼロ・エミッション輸送 製品を求める世界のニーズに応え、 来の都市内配送や近距離輸送を担 を実現。脱炭素(カーボンニュート 新しい価値をすぐに届けたいと思っ う重要なカギとなります。 づくりに貢献できるため、世界中に eCanterをお使いいただくことは、 世界で活躍を広げる eCanter、信頼 お客様のビジネスに役立つだけでな 性も実証 く、より広い視野で未来を変える社 2017年の発売以来 eCanter は、 会貢献につながります。

電気トラック eCanter にできること

球温暖化の抑制、大気汚染、騒音

世界中の輸送現場で活躍。日本を はじめ、欧州各国、アメリカ、オー ストラリア、ニュージーランドなど、 国内外の多様な地域で稼働してい ます。また走行距離の蓄積により高 い信頼性も実証されており、地域 を問わず安心してお使いいただけま

「電気で運ぶ」が、 人、社会、未来に、新しい価値を

三菱ふそうは電気小型トラックのパイオニア的存在です。 2010 年に電気トラック 「キャンター E-Cell」をプロトタイプとして発表以後、 2017年にはFUSO「eCanter」として電気トラックをシリーズ生産した自動車メーカーとなりました。





DTA は、多国籍間輸送ソリューショ 人々です。DTA はオープンで互いに イノベーション 員です。DTA は、日本の MFTBC と 境です。 ける車両の電動化、コネクティビティ の導入、デジタル化といった革新的 な動きをリードする DTA の職場環境 は、他では経験できない素晴らしい ランスも重視し、キャリアアップも目 指せるサポートも充実しています。

製品であり、プロセスであり、そあります。 して何といってもそこで働いている

ンのプロバイダーとして世界 170 ヶ 協力し合うことができ、日々の発見 一業界をリードする一 国以上の経済成長を支えています。 に満ちた職場環境です。常に仕事の 現在 DTA は、車両の電動化、コネク 性を見つけることができます。DTA その DTA の事業の成功を支えてい 成果が重視されると同時に、社員の るのが約1万4千人のグローバル社 ワーク・ライフ・バランスが保てる環 などに積極的に取り組んでおり、商

インドの DICV をはじめ、オーストラ DTA では約 45 か国・地域の人々が す。自動車メーカーとして電気トラッ もつながると考えています。これに リア、南アフリカなど世界各国に拠働いており、事業の課題に対して異クシリーズを発売し、またコネクティより、私たちはより親密になり、世 ものです。社員のワーク・ライフ・バ DTAでは社員の幸福度が高い人ほど 自主性を活かせる環境で働きたい方 満ちた仕事の進め方や、社員のプラ イベートの時間も尊重します。事業 ーオープンで互いを認め合い協力し の成功のためだけでなく、自分自身 の目標を達成するためにも、高いレ DTA という組織の中核を担うのは、 ベルで学び、成長する機会がここに だけでなく、新しいポジションや異

ティビティ、自動運転、デジタル化 では、社員が他国の同僚と一緒に仕 用車業界の先駆的存在となっていま とができ、それがキャリアの成長に り組んでいます。社員一人ひとりがを生み出すなど、これまでの常識に力を高め、お客様、社員、製品のた 常に挑戦し続け、業界に新しい風を めのより良いソリューションの創造に 吹き込んでいます。自らのスキルと 貢献することができるのです。 環境が、事業の成長を支えています。 知識をさらに磨きたい方、創造性と 仕事の生産性が高いと考え、柔軟な にとって、DTA は最高の職場と言え

DTA は真にグローバルな組織です。 世界中の人々と仕事をし、オフィス内 動への移動の機会も得られます。自 分のキャリアを伸ばし、従来の国境 を越えた視野を広げてください。世 界各地のオフィスでは、大きな多様

DTAで働くひとたち — グローバルに考えローカルで働く

企業の成功には社員のモチベーションと効率良い働きが欠かせません。 DTA には熱意に溢れ、誠実で規律正しい人たちが集まり、ひとりひとりがプロ意識を持って さまざまな形で働いています。この集合体が企業のカラーを形成していると言えます。



ブランド

お客様のために信頼性の高い製品を世界に

DTA には強力な製品ブランドがあります。 魅力的なブランドと革新的技術で世界中のお客様の声に応えます。





FUSO

トータルコスト削減によるお客様満 るよう努めています。 足度の追求によって、世界中の国々 認知されています。

製品開発はダイムラーの開発管理プ 喜連川研究所は日本のみならずダイ 信頼される高品質とすぐれた経済効 ロセス CVDS (Commercial Vehicle ムラートラック社の中でも最大規模 率性、機能的なデザイン、価値ある Development System) に基づいて の研究・開発拠点です。厳しい標準 サービスで愛される、三菱ふそうブ 行っており、製品の完成度と品質を に基づき行う研究・開発で FUSO 製 確かなものにしています。お客様が 品の品質を確保しています。 様々な革新技術と、省燃費などの 最新技術の恩恵を受けることができ

で、日本の代表的なブランドとして TOS (Truck Operating System) は 世界のダイムラートラック工場が最 高の成果と持続的改善を行うために 使うシステムです。このシステムで 製品の安全性、品質、コストと従業 員のモラルを維持することが出来ま す。 FUSO の工場はダイムラートラッ クの中でも常に高い効率性を誇って います。







バーラト・ベンツは、ダイムラートラッ 向上した機能とお客様のデジタル化 "Power ahead" クの商用車ファミリーの中で最も新 **に注力** しいブランドとして、インド市場向け バーラト・ベンツシリーズは、政府が のブランドは、2012年9月に大型 に特別に開発されました。

調達しています。バーラト・ベンツのカライズしました。 モデルは、特にインドの市場に合わ 状況にも適しています。

リットは以下の通りです。

効率性: 低い総所有コスト (TCO) を DTA のテレマティクスソリューション 保証する低燃費のエンジン。グロー 「トラックコネクト」と「バスコネクト」 バルな技術。ダイムラートラックの をバーラト・ベンツ製品に導入したこ 製品ラインアップとノウハウは、例え とです。これらのコネクティビティ強 ば Euro VI などの排ガス規制の実施 化サービスにより、事業者はリアル において、インドのお客様に信頼で タイムで車両を追跡・分析すること きる世界的に実証された技術を提供 ができます。これにより、車両およ することを意味します。所有するこ び燃料管理の改善、ランニングコス との誇り。ベンツ製品を所有するこ トの削減、資産の利用率向上、ドラ と、あるいは運転することは、しば イバーのパフォーマンス向上などの しば誇りの源となります。

定める 2020 年 4 月の期限よりも の運搬用トラックを導入してスター バーラト・ベンツは、10 トンから 数ヶ月早く BSVI 適合(ユーロ 6 相当) トしました。その後、中型トラック 55トンまでのすべての重量カテゴ を達成しました。DICVは、ダイムラー (2013 年)、建設・鉱山用トラックと リーにおいて、最新のトラックを幅 トラックの技術的専門知識のグロー トラクター (2014年)、バス (2015 広く提供しています。すべての車両 バルネットワークを活用し、実証済 年)を発表し、ポートフォリオを拡大 は現地で生産され、コンポーネント みの Euro VI 技術をインド市場で使 しました。バーラト・ベンツの販売・ や部品はインドのサプライヤーから 用するために迅速かつ効率的にロー サービスネットワークは、インド国

部門における幅広い要件を満たして タイリングに加え、新世代のバーラト・ のバーラト・ベンツがお客様の手に います。また、インドの気候や経済 ベンツ車は「ProfitTechnology+」を 渡り、世界で最も厳しい商用車市場 提供します。このテクノロジーと機能 において前例のない増産を実現して のパッケージは、インドのお客様のいます。 **効率性の向上と所有者としての誇り** ために、業界をリードする燃費、安 バーラト・ベンツのトラックの主なメ 全性、快適性、信頼性を保証します。 新技術の中でも特に注目すべきは、 メリットが得られます。

2011年2月に初めて発表されたこ 内の 270 拠点以上にのぼり、現在 も拡大し続けています。市場投入か せて作られており、輸送および建設 中型および大型トラックの大胆なス ら8年以内に、すでに125,000台







FUSO製品ラインアップ

大型トラック

GVW: 20 tons

スーパーグレート





FO(海外専用)

FJ(海外専用)



FZ(海外専用)



中型トラック

GVW: 8-20 tons

ファイター



FA/FI(海外専用)





電気小型トラック



大型観光バス

エアロクィーン

GVW: 3.5-8 tons

キャンター

小型トラック



キャンター EX







大型路線バス

エアロスター



6M60-TLE3BA 110-200kW

産業用エンジン

4M50-TLE3BA 98-129kW

6M70-TLE3A



小型バス

ローザ







バーラト・ベンツ製品ラインアップ

カーゴタイプ 中型トラック



車両総重量:	10.7t - 14.5t
用途:	貨物輸送
エンジン:	直列 4 気筒
出力:	110kW
車軸/駆動軸:	4 × 2

カーゴタイプ 大型トラック



車両総重量:	16.2t - 47.5t
用途:	貨物輸送
エンジン:	直列 4 気筒、直列 6 気筒
出力:	125kW, 180kW, 210kW
車軸/駆動軸:	4×2 , 6×2 , 8×2 , 10×2

鉱山用トラック



車両総重量:	13t - 35t
用途:	鉱山用
エンジン:	直列 6 気筒
出力:	125kW ,180kW, 210kW
車軸/駆動軸:	4 × 2, 6 × 4, 8 × 4

トラクター



車両連結総重量:	37.2t - 55t
用途:	産業用輸送、重量物輸送、特別用途輸送
エンジン:	直列 6 気筒
出力:	180kW, 210kW
車軸/駆動軸:	4 × 2, 6 × 4

^{*} その他ダイムラー・バス車両やバスシャシー等も DICV にて製造しています。







MFTBC 本社 川崎製作所・技術センター 神奈川県川崎市

川崎製作所は三菱ふそう最大のトラック工場 で、日本国内および輸出市場向けの小型・中 型・大型トラックを製造しています。調達・ 物流・生産計画などの部門のほか、研究開発 センターも併設されています。



神奈川県愛甲郡愛川町

中津工場は、トランスミッションやパワート レインの製造と組立に特化しています。オー トメーション化された最先端の製造過程によ り、パワートレインの信頼性と耐久性を高め ています。製造サイクルは、近隣の川崎製作 所と連係されています。



栃木県さくら市

喜連川研究所は、世界最大クラスの商用車の 試験施設です。トラックとバスの試験を行う 特別な施設やプロセス、スタッフを備えてい ます。1980年以来、全ての三菱ふそう車両 のコンセプトの成熟と、製品の品質を守り続 けています。



三菱ふそうバス製造株式会社 富山県富山市

富山県にある三菱ふそうバス製造株式会社 (MFBM) は、日本最大レベルのバス工場の 一つで、三菱ふそうのバス全体を製造してい ます。お客様のさまざまなニーズに応えるた めカスタマイズにも特化しており、国内およ び世界に向けたバスを生産しています。



インド タミルナドゥ州 オラガダム

インドのチェンナイで近代的な施設を備える DICV 工場の約 160 ヘクタールの敷地内に は、ダイムラートラック社の標準に基づいた 最新の試験コース、本社及び開発拠点があり、 FUSO、メルセデス・ベンツ、フレートライナー などのブランド製品を世界約60カ国以上に 輸出しています。